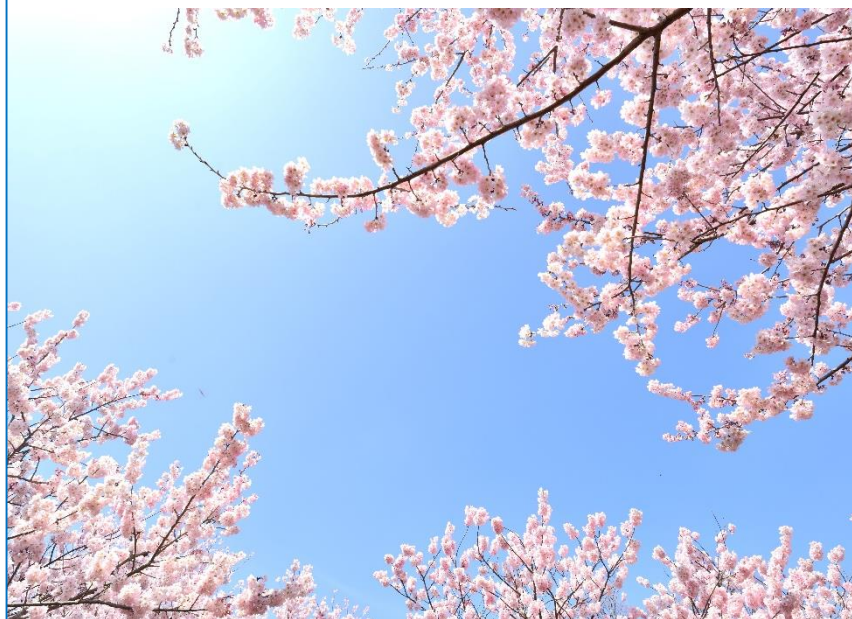


タイピックだより

3月号

2016.2.20 発行

Vol.39



水温む三月、冷たさのゆるんだ川に、泳ぐ魚も喜び遊んでいるようですが、朝の水は、まだ冬の残りか、その尖った冷たさでもって変わらず朝起きの手助けをしてくれず。

春とはいえ、まだ花も少なく、茶色の土や枝から賑やかに伸び始めた茎や芽の緑に躍動感を感じさせられます。

木々から新芽が顔を出してくるこの季節を、木の芽時（このめどき）といい、気候が不安定なこの時期は、心や体調が病気になるやすい時期として、昔から警戒していたようです。現代でも、毎日の寒暖差で風邪を引いたり、冬から流行したインフルエンザなどにいかつたりと、体調を崩しがちです。

病は気から」という言葉をよく耳にしますが、医学的にも根拠がある話だそう、楽しい記憶は、免疫細胞を活発にしますが、気が滅入る思い出は免疫細胞の数を著しく低下させるそうです。悩みや心配事があると、食欲が無くなり、眠れなくなることもあります。心の働きが自律神経を左右し、体調に大きな影響を与えて、病気になるのだから、いい状態になるのだそうです。重要な行事も多い三月ですから、家族皆で楽しく健康になりましょう。

三月九日は（サンキュー）でありがとうの日です。千恩万謝という四字熟語を知りました。私たちを支える数多くの恩に対しての計り知れない大きな感謝を表す言葉だそうです。まさに「ありがとう」とはそんな気持ちだと思いました。千恩万謝の気持ちをもつて、春めく風景に心を重ね、健やかに過ごしたいものです。

なくてはならない水だから
安心安全な水をいつもそばに



無料お試し実施中！

環境にやさしく、おいしく安全な水を皆さまの
ご家庭やオフィスにお届けします。
ウォーターネットのウォーターサーバーは、
いつでもお水もお湯もご利用いただけます。
ご用命は、担当営業にお問合せ下さい。

お水の宅配始めました

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

社長の

つぶやき



タイプブック使いも三年を経過することができました。最近、岡崎さん「長の十訓」読みましたよ」とか、毎月楽しみにしていますよ」と多くの方々に声をかけていただけるようになり嬉しく思っています。編集してもらっている社員の皆さんにもこのことを伝え、もっと充実した紙面にしたいと今回からこのような様式に変更いたしました。

今後も皆様に楽しみにしていただけるよう努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

今年一月に吉田松陰先生の教えを学んでみようと、大はなせ勉強するのが千秋の人吉田松陰『(岩橋文吉著、財団法人モラロジー研究所発行)を三回読んでみました。

松陰先生は野山獄で安政元年十月二十四日から十二月まで約二カ月に読んだ本は百六冊、安政二年一年間で四百八十八冊、安政三年は五百五冊とあり、漢文で書かれたものを二カ月で百六冊とは想像もつきませんが、自分を修めるためこれだけの努力されたことを思い知らさ

れました。

この本のなかに學問はなんのためにするかと言えば、まず自分の身を修めることから始めて、その効果を家、国家、全世界に及ぼして、すべての人が安心して生活できるようにするためである』とあります。

弊社では朝礼で安岡正篤先生の成徳達材を唱和していますが、このなかにも『志は経世済民(世を経おさめ、民を済す)に存す』とありますが、まさにこれだと確信いたしました。

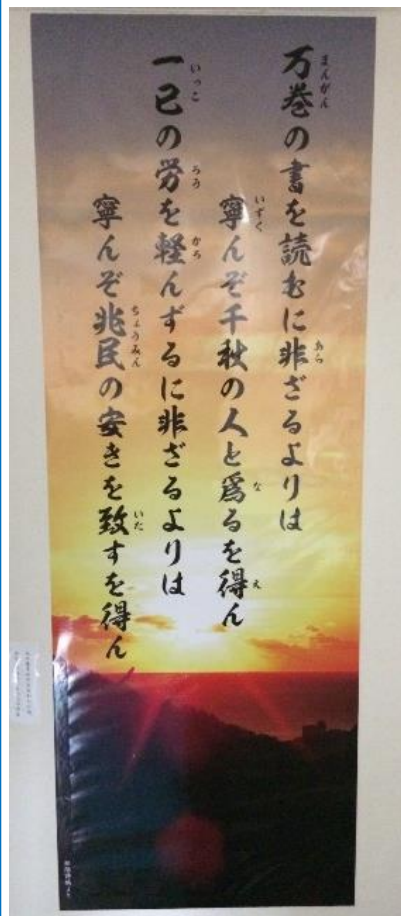
松下村塾に掛けてあった聯には(吉田松陰先生が書いたもの、本物は漢文)

万巻の書を読むに非ざるよりは

寧んぞ千秋の人と爲を得ん

一己の勞を輕んずるに非ざるよりは

寧んぞ兆民の安きを致すを得ん



弊社階段踊り場に掲示している吉田松陰先生の言葉

大と生まれてきたからには、千年

もの歴史にその名が残るような人になりたいし、天下の人々が安心して幸せに暮らせるような世の中にしたい。そのためには一万冊ほどのたくさんの書物を読んで勉強し、進んで世のため人々のため、わが身の労苦を惜しまず尽くさねばならない、という覚悟を述べたもののようです。

弊社の階段踊り場の壁には、リコーの三愛精神 天を愛し 国を愛し 仕事を愛す』を掲げていましたが、それを左にずらして 社員の皆さんにも志を高く持つて学び続けて欲しい、との思いを込めて吉田松陰先生の言葉を掲げました。

そして、私はこの言葉をノートに書き写して毎朝朗読しています。

代表取締役社長 岡崎純二

社内木鶏會

致知の感想



すべての責任は我にあり 寺井政徳

この記事を読んで八木原会長は本当に、たき上げ」という言葉がぴたりと当てはまる人だと思いました。丁稚奉公で昼夜を問わず働き詰めで、雑用をこなしながら見よう見まねで仕事を覚える。そんな下積み時代があるからこそ、働かせていただくという姿勢が身に付いたのだと思いました。今の時代少しでも苦しい事があるとすぐに逃げ出したりするのが当たり前で、嫌ならやめて他の職につけばいいと考えている無責任な人が本当に多くなつたし、他人に興味を持たなくなっているように思います。自分たちはこの致知いろいろな人の成功体験を勉強する中で、人間力を磨いているけれど頭ではわかっていても、まだまだ10分の1も実践に移していないと思いました。物事を成功させる為には逃げずに全て真正面で受け止め乗り越えること、とにかくがむしやに突っ走る2、3年、そして常にアンテナを張って時代の変化を読み切る力が必要不可欠だと思いました。そしてリーダーとしても誰にでも対等に接し謙虚かつ誠実でいなければならぬと思いました。

自分たちの都合を見ているか、
お客を見ているか？

株式会社船井総合研究所 兎澤



みなさん、こんにちは。

株式会社 船井総合研究所の兎澤と申します。

今回で20回目の掲載になります。いつもありがとうございます。

船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしている経営コンサルティング会社です。

前回は、集客商品に徹底的にこだわりの魅力を作るについてお伝えしました。たとえ採算度外視だとしても、お客様を強力に惹きつけるための集客商品には徹底的にこだわり、磨くことの大切さをお伝えしました。収益商品は、集客商品によって惹きつけてからでも遅くはないのです。

さて今回は、自分たちの都合を見ているか、お客を見ているか？についてお伝えしたいと思います。先日、私たちのお客様である経営者の方々が集まる勉強会の懇親会場を探していたときのことでした。インターネットでいくつか候補のお店を見ながら、「ここがいいだろうか」と探していたのです。『ここはよさそうだな』と感じた2つのお店に電話を

掛けてみました。すると、ひとつ目のお店は、コース料理の中から選ぶ形式でしたが、料金がそれなりに高くてボリュームも多いコースか、料金が比較的低くてボリュームも少ないコースのどちらかしかありませんでした。私たちのお客様にとつてちょうど良いコースがなかったのです。

そこで、『この間の料金で、料理の内容を調整していただくことはできませんか？』と尋ねたところ、『そうだったコースはありませんのでできません』と言われました。もうひとつのお店に電話を掛けてみると、コース料理がいくつかあるにも関わらず、お客様の平均年齢はどれくらいですか？『どのくらいの量がよさそうですか？』『予算はおひとりいくらくらいでお考えですか？』などと、こちらのニーズをヒアリングしてくれました。一瞬で、『このお店なら間違いはないな』と思い、即決しました。

その理由は、お客様のニーズに着目しているからです。安心して私たちのお客様を案内できると感じました。自分たちの都合を見ているか、それともお客を見ているか。それだけで大きく異なるものです。お互い、お客様が何を求めているかというところに、いかに着目できるか、深く考えていきたいですね。

SAからのお勧め情報



OA事業部システム課



村上 貴志

前回は、一冊の本を紹介させて頂きました。

今回は毎年初めに会社で発表した漢字を紹介させて頂きます。

昨年、社内木鶏全国大会in札幌での発表や様々な講演会等も参加させて頂き、沢山の人と出会うことが出来、また貴重なお話や体験もさせて頂きました。

個人的に昨年12月には第4子の誕生とうれしい事もありました。

前置きが長くなりましたが、今年の自分の漢字は「働」です。

子どもが生まれて今より一層、働かないといけないという思いと、購入したオーディオブックの中にも出てきた言葉です。「働」をひらがなで書くと「はた・らく」です。「はた」は周りの働きで周りを楽に行きたいと言う思いで書きました。また漢字で書けば、「イに動です。人の為に動き、自分の周りの人たちが楽になり、少しでも幸せになれるようにと、働けていることに感謝して、頑張っていきたいと思います。



A small green bird with a yellow beak and feet is perched on a brown branch. The branch is adorned with several colorful flowers in shades of pink, red, and purple. The background is white.



教室内でよく聞かれる
会話を紹介します。

生徒さん「昨日やったところをもう忘れたわあ」
スタッフ「良かったあ。いいんよ。忘れたほうが優等生です」

そんなアットホームな
雰囲気で、おいしいコー
ヒーと茶菓子を頂くと
笑顔も自然と増えます
ね。

教室では17歳の資格取得が目標の生徒さんから89歳の目標の違う生徒さんたちで交流しています。今回は教室での人生の大先輩のお二人をご紹介します。

藤永 秀雄さん 88歳

タイピックの広告を見て、老齡を迎えボケ防止とバスでの外出で脚力強化になると思い入校しました。

若い頃は戦時中でもあり、勉強はほとんどできず、今この年になり、パソコンを触り作品が出来上がった時はうれしく、家族やデイサービスの皆に見せたいと印刷を沢山しました。

生徒さん、先生方が明るく親切に接してくれ、時間があっという間に過ぎていきます。

大庭 富子さん 89歳

10 数年前に親戚の書いた、10冊の「軍事日記と手紙」を見せてもらいました。戦時中を知っている私に何とか世に残したいと願い、パソコンなら何とかなると思い切って教室に入校しました。

仕事の傍ら、徒歩で教室に通っています。諸先生の優しい教えのもと、今日まで2年楽しく勉強させて頂いております。本当に有り難い教室です。今後ともよろしくお願ひします。



パソコンが懸け橋とな
ったご縁。楽しいお話を
しながらパソコン教室で
技術の向上だけではなく
生徒さん同士が楽しく交
流するお手伝いをさせて
頂けたら嬉しいです。

ある情報番組で「1日10人以上の人と会話をすると人生が豊かになる」と伝えていました。

パソコン教室ではそれが可能な場所です。毎日たくさん仲間と会話をし、たくさん笑って人生を豊かにしませんか？

皆さまのご入会、お待ちしております。

パソコン教室 文化祭です

4月10日（日）開催

披露していただける演芸を持っている方
大募集です。スタッフまで。

★おなじみのバザーも開催します。
出品物の準備もお願いします。

詳細は後日あらためてお知らせします

今年も文化祭を開催します♪
皆さんも是非、ご参加ください!!



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします